

	取り組み	課題・現状	方法	参加者	次回の開催時期	今後
継続	① 日の出倉沼地区 住民主体の支え合い の体制構築	現在 個人の繋がりで一部住民が支援を行っている状況。アンケートにて 除雪・草刈りに関して困っている方が多いことを把握した。 課題 一部の担い手が行うには、負担が過多になる可能性が高い。地域全 体が互いに支え合う（できることを負担なく行う）仕組み・体制が必 要。	・担い手発掘のアンケート。 ・体制構築に向けた座談会。	日の出倉沼地区の住 民 まるとご支援員 包括	7月～2月まで3回程 度の座談会。	今年度、骨案完成を目 指し、次年度から実施を 予定。
継続	② 旭正地区 住民主体の移動支援	現在 交通手段に限られる地域。 バス停まで歩けなくなったり、車がないと生活に困る。 課題 買い物や集いの場に参加するにあたり移動の課題がある。	・買い物送迎：月2回。 ・サロン送迎：月1回。	旭正地区の住民 まるとご支援員 包括	4月から継続し活動。	移動支援の継続と利用 者・担い手の拡充。
新規	③ 東部老人福祉センターに て、介護予防(栄養・認知症 など)の取り組み	現在 意欲のある人はすでに外に出て何かしらしている。 課題 出てこない人々への働きかけが必要。 どんなことに興味があるのかを模索することが改めて必要。 (健康の維持や認知症について)	興味関心があるものを把握する 場を作る。	東部老人福祉センター 障がい事業所 紅蓮 中央地区市民委員会 包括	6月19日、関係者での 打ち合せ。	9月頃、東部老人福祉セ ンターで、認知症に関す る映画上映会の実施と 参加者から興味・関心を 把握するグループワーク の実施。
新規	④ 空き家について検討	現在 米原瑞穂地区では空き家が増えている、市民委員会としては何かし ないといけないと思いい、出来ることを検討しようと思っている。 *旭正地区・豊田地区でも同じ状況。 課題 ・所在不明の空き家・老朽化した空き家、空き家にある木の対応等。 ・空き家を売却するにも、農地法の絡みで簡単に売却できない。 ・空き家を把握した後、どのような動きをしたらよいか？	検討する場を作る。 (今年度は、米原瑞穂地区を中 心に実施していく)	米原瑞穂地区の住民 市の建築指導課 農協組合 包括	7月～2月まで3回程 度の話し合い。	例：空き家把握調査など
新規	⑤ のりたぐの活用促進 について検討	現在 のりたぐは地域には絶対的に必要なものと思うが、利用する人が限ら れている。赤字続き・いつ無くなるか分からないといった現状。 課題 年に1回の都市計画課主催の意見交換会はあるが、実のあるものにな っていない。 維持していくために利用区域の住民らで何が出来るかを検討していく 必要がある。	のりたぐの活用促進に向け、何 ができるかを各地区の関係者 で集まって検討する。	米原瑞穂地区 豊田地区 東椋岡地区 上記地区の住民 市の都市計画課 中央交通	7月～2月まで3回程 度の話し合い。	例：のりたぐツアーや 体験利用など